

# HSK なんれん

----- 既誌 日 時 号 -----  
昭和48年1月13日  
第三種郵便物認可  
HSK通巻229号  
1991年5月10日  
毎月1回10日発行  
1部100円  
編集人 財団法人・北海道軽病連釧路支部  
発行人 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会

釧路支部版

NO - 8

## 釧路支部・総会案内

5月12日 14時 於 福祉会館

## 総 会 議 案 書

皆様の参加をお待ちしております

### 【目 次】

・ 支部総会案内	1
・ 総会議案書	2
活動報告	2
支部活動報告書	5
支部決算報告書	6
活動方針案	7
支部事業・行事計画書案	8
支部会計予算書案	9

# 〔財〕北海道難病連・釧路支部

## 総 会 案 内

釧路地方の寒さも和らぎ、春らしくなってきましたが、皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。さて、(財)北海道難病連・釧路支部の総会日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

この議案書を持参のうえ、多くの会員皆様のお出席をおまち申し上げます。

と き：平成三年五月十二日(日)

午後二時より

と ころ：釧路市福祉会館(幸町)

三階・小ホール

な か み：総会議案書の審議

総会入会三日には

この機関紙を

お忘れなく

持参して下さい

### 総会入会三日次第

- 一、開会のことば
- 二、支部長あいさつ
- 三、来賓あいさつ
- 四、祝電披露
- 五、議長選出
- 六、議題
  - ①一九九〇年度活動報告
  - ②一九九〇年度決算報告
  - ③一九九〇年度会計監査報告
  - ④一九九一年度活動報告案
  - ⑤一九九一年度予算案
  - ⑥役員改選
  - ⑦その他
- 七、質疑応答
- 八、役員改選
- 九、新役員紹介
- 十、議長解任
- 十一、閉会のことば

## 難病センターでは、こんな事業をしています。

### ▶相談

医療・福祉制度・年金・法律など。  
電話・手紙・ご来所、ご自由です。  
(月～金、午前10時～午後5時)

### ▶難病集団無料検診・出張相談会

道、市町村との共催で全道各地で。  
(年間5～7カ所)

### ▶医療講演会

札幌市内他全道各地で。

### ▶ボランティアの派遣

- ▶福祉機器の相談・展示・あっせん
- ▶難病・医療・福祉に関する資料の収集と閲覧
- ▶患者さんのための貸し出し図書
- ▶機関紙・ポスター・パンフレットの発行
- ▶各種研究の推進
- ▶宿泊 低料金で安心してご利用いただけます。
- ▶会議室 会議、講演会、研修会に

# 総会議案書

## 活動報告生口

### ◆夕台種△△△

釧路支部の総会は、全ての会員を対象に呼掛けて開催し、各支部の会員並びに役員、約20名の出席者で実施しました。出席人数は決して多いとはいえないですが、初めてのこのころみであり、今後の出席状況を期待し、全会員による釧路支部総会を、今後も継続したいと思えます。また、役員会は8回開催（内1回は三役会）することができました。役員会を、必要の都度開催する方法もあるが、各役員の時期的調整等で、定例開催にすべく検討したいと思えます。

また、三役会を効率的に開催するようにしたものです。

なお、役員会に役員本人が出席出来ない場合は、代理人を必ず出席させる体制

にするよう、各支部の調整をしてほしいものです。

### ◆△△△△△△△

昨年の全道集會には、釧路支部から2名が参加しました。札幌での開催年ということで、例年のとおり北海道庁別館に、総勢440名の会員・家族や障害者が参加し、札幌での開催では過去最大の参加数になり、会場は難病患者・障害者と家族の願いと熱い思いでいっぱいでした。

今回の全道集會終了後、難病連結成以來初めての街頭デモが行われ、参加者のほとんどが参加し、観光シーズンで賑わう中心部から大通公園まで、それぞれの要求や願いを掲げ、市民や観光客に「難病患者や障害者・高齢者が安心して暮らせる社会」の実現と協力をよびかけました。また、当日は天候にも恵まれ、デモ行進をするにも最良の日でした。

なお、今年の全道集會は地方開催年であり、室蘭支部が主体で、洞爺湖温泉に

てで開催されます。是非、釧路支部からも多くの会員・家族の参加を期待します。

### ◆難病相相談日

昨年度は、難病連釧路支部の事務所が設置され、定例的に難病相談日を開設する計画を組みました。しかし、現在の釧路支部の役員体制や、会員の協力状況では実施不可能との判断から、難病相談日の実施は出来ませんでした。

ただし、釧路市主催の健康フェスティバルに歩調をあわせ、釧路保健所の保健婦さんを要請し、市民の難病相談と、国会請願の署名行動をおこないました。

結果は、相談者はいにくくなく、相談活動の必要性、あるいは市民への周知方法を、検討しなければならぬ結果となりました。

また、国会請願の署名行動は、健康フェスティバルにこられた市民の方々によびかけし、署名・募金について一定の成果がありました。

この健康フェスティバルの参加は、急な対応となったため、市民へのPR不足など、満足のいく結果となっていません。

### ◆釧路路士又部レク

10月28日に標茶町の茅沼温泉で、釧路支部の合同レクを行いました。バスを利用してのレクで、患者・家族・ボランティアを含めて26名の参加者でした。現地では、温泉・ゲームと弁当を用意し、郊外での美味しい空気で、仲間と交流を深めた有意義な一日でした。

### ◆本部役員日員研修

昨年の北海道難病連の役員研修会は、1月19・20日の二日間、全道各支部・部会の役員を対象に、札幌の難病センターで開催され、釧路支部から2名が受講しました。

今回の研修テーマは、

- ①患者会活動のすすめ方について
- ②医療法改正について
- ③視覚障害者の手引き、でした。

一番目のテーマは、患者会の基本となる事項を「患者・家族会のつくり方と進め方」という、参考書による研修でした。各役員も一読してみる必要のある参考書

でした。

医療法改正では福祉八法の講義、また、視覚障害者の手引では実技講習をふくめての研修会で、目の見えない人の苦勞を体験し、大変内容の濃い研修会でした。

今後は、多くの支部役員が参加し、知識向上に役立ててほしいものです。

### ◆道東木札日員研修

1月26・27日に開催された道東支部の役員研修会は、釧路支部から役員5名が参加しました。

今回は中標津支部が幹事役をつとめ、道東の6支部から約30名が参加しました。当初、十勝・音更支部も、同じ会場に合流する予定でしたが、交通手段等の関係で、従来通り道東6支部のみの研修会となりました。

研修会では、中標津保健所の前川保健婦による「管内の難病支援の状況」と、役場保健センターの保健婦さんによる「健康クイズ」を行い、4チームに分かれたのゲームを行い、釧路支部チームは輝く優勝を得ました。

二日目は、難病連本部の伊藤事務局長の講義で、本部の研修会と同じテーマをうけ、有意義な二日間の研修でした。

### ◆機関誌の発行

支部内会員へ情報伝達する最良の手段である、支部機関誌の発行は、計画では3回の予定でしたが、残念ながら2回の発行にとどまりました。

その最大の原因は、原稿不足であり、各部会役員の協力がなければスムーズな発行が期待されません。

会員の皆さんは、いろんな情報が必要としています。各部会に関する情報を、事務局まで投稿されるよう、協力体制を確立したいものです。

一回に発行する部数は約500部で、会員並びに関係機関に郵送で配布していますが、腎友会については病院単位に配布しています。

### ◆協働力△△△活動

89年度(前々年度)の北海道難病連の協力会入会者は、70人で102口の契約で、63名から入金されています。

昨年の90年度は、新規入会者が8人で、120口の入会があり、現在の協力会入会者総数は78人で110口となっています。

今年度の入金は、既契約者を含めて3

0人、39口で22750円の還元金となりました。

しかし、全体の入金状況をみると、既契約分の未納者が48人、75口あり、契約者の半数以上が未納となっており、今後、未納者の完全納入について、積極的なPRをしなければなりません。

#### ※入会者の状況

89年度	契約数	70人	102口
90年度	契約数	8人	12口
計	契約数	78人	114口

#### ◆十又却町内却町△云十又援坂

昨年は、パーキナー病とパーキンソン病部会の、医療講演会を開催することで計画しました。

パーキンソン病の医療講演会は、パーキンソン病北海道支部の主催で、難病連釧路支部が後援で実施しました。

講師は、札幌の北祐会神経内科病院長である浜田 毅先生に、『パーキンソン病の治療と日常生活』という演題でお話をさせていただきました。

また、地元労災病院神経内科の緒方昭彦先生は、『道東地方におけるパーキンソン病の現状』について講演いただきました。

した。

この医療後援会の事前PRを、北海道新聞・釧路新聞・NHK・HBC・STVの各マスコミで行いました。また、労災病院の神経内科外来窓口にて、チラシを作成して置いておきました。

その結果当日の受講者は、予想をはるかに上回る受講者で、会員4名・患者21名・家族19名・その他12名で、合計56名の方々が受講しました。

この医療後援会の結果、いかにパーキンソン病で悩む患者さんが、この道東地方に多くいる現状がわかりました。

今回の受講者のつながりを大事にし、今後、釧路支部とのかかわりを検討し、将来、パーキンソン病の支部づくりに発展させたいものです。

一方、パーキナー病の医療後援会は、種々の観点で、パーキナー病の道東支部の結成を、先に行った方がよいという結論から、医療後援会は行いませんでした。

11月25日に、釧路・根室地方を包括した、パーキナー病の道東支部が、碧空会として発足しました。まだ会員数は少ない現状ですが、部会支部として、会員の増加と発展的な活動を期待したいものです。

#### ◆事務局同体制

昨年、釧路支部の事務局を、事務担当と経理担当の2名体制で運営し、釧路支部の活性化を図るよう体制強化をはかりましたが、うまく軌道に乗った運営にはなりません。

特に役員会開催など、事務的な手続きが行き届かなく、釧路支部の各行事が停滞する結果となりました。

今後は、安定した事務局体制にすることが急務ではないでしょうか。

#### ◆十又却町事務所運営

昨年度より身障センターに初めて設置された、難病連釧路支部事務所の運営は、当初、原則的に月・水・金の2時間位は、難病連で常駐することで取り組みました。しかし、事務所に出動できる人が少なく、事務局担当者一人の運営では難しく、効率良い利用は出来ませんでした。

今後、会員各位の知恵を出し合い、また、多くの協力で、効率よい事務局運営を、検討しなければなりません。

財団法人・北海道難病連  
1990年度  
**支部活動報告書**

実施期間 自：1990年 4月 1日  
至：1991年 3月31日

支部名 釧路支部

活 動 内 容	参加人数	備 考
<b>1、会 議 (役員会等)</b> 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・総 会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・役員会 釧路支部・三役会	月 日 5月 8日 5月15日 5月20日 6月 6日 6月24日 10月 6日 11月15日 2月19日 3月28日	会 場 福祉会館 福祉会館 身障センター 身障センター 身障センター 身障センター 身障センター 身障センター 身障センター 身障センター 身障センター
<b>2、諸活動 (講演会・研修参加・その他)</b> 北見支部・結成大会参加 北海道難病連・全道集会参加 釧路支部・福祉相談会 釧路支部・レクリエーション パーキン病部会・医療講演会 バージャー部会・道東支部結成 本部・役員研修会 道東支部・役員研修会	5月13日 7月28・29日 10月19・20日 10月27日 11月 4日 11月25日 1月19・20日 1月26・27日	北見市 札幌市 初エカテル 標茶町・茅沼 身障センター 福祉会館 札幌・センター 養老牛温泉
<b>3、機関紙・ニュースの発行</b> 機関紙・なんれん釧路版 NO・6 機関紙・なんれん釧路版 NO・7	4月10日発行 10月10日発行	発行部数 500部 500部
<b>4、相談活動</b> 電 話 約 2 件 手 紙 約 0 件 来 訪 約 0 件 訪 問 約 0 件	相談件数 2 件 0 件 0 件 0 件	<b>5、その他</b>



釧路各支部決算報告書

皇：1990年4月31日

収入の部

科 目	1990年度予算額	1990年度決算額	備 考
道難病連交付金	190,000	190,000	難病連本部より
市町村補助金	140,000	140,000	釧路10万・白糠4万
その他の助成金		100,000	合同レク10万
参加費収入	40,000	39,000	合同レク参加費
寄付金収入	10,000	5,000	
協力会還元金収入	90,000	22,750	件数30件
募金箱還元金収入		2,000	
署名募金還元金収入		6,556	
販売事業収入	5,000	750	花火
その他の事業収入		1,824	
受取利息収入	500	3,235	
前期繰越金	71,631	71,631	
合 計	547,131	582,746	

支出の部

科 目	1990年度予算額	1990年度決算額	備 考
会 議 費	80,000	115,861	
支部役員会	40,000	45,671	8回
本部会議参加費	40,000	64,470	
その他の会議費		5,720	
事 業 費	320,000	293,156	
地区集会費	30,000	15,818	
全道集会参加費	40,000	28,559	2名参加・札幌
医療講演会		445	
検診相談会	0	10,000	
機関紙誌費	40,000	32,391	2回発行
研 修 会	50,000	83,930	本部・道東の2回
合同レク	50,000	73,091	標茶町茅沼温泉
レク・交流会費	20,000		
地域部会援助費	40,000	40,000	パーキン・バージャー部会
相談員補助	20,000	2,410	
活 動 費	30,000	3,100	
負担金・分担金	0	3,412	
維持運営費	147,131	14,131	
事務局費	100,000	0	
事務消耗品費	10,000	0	
通 信 費	30,000	11,410	電話移転費
雑 費	7,131	2,721	
積立金支出		100,000	事務所運営積立
小 計	547,131	523,148	
次期繰越金		59,598	次年度へ繰越
合 計	547,131	582,746	

## 活動十方針案

### ◆ 汎員員会開催

難病連銚路支部の総会以降、6回の役員会を計画し、内4回は事務局局長以上（会計監査含む）の三役会とし、役員全体の役員会は2回とします。

各役員は、本人が出席出来ない時の対応を、つとめて代理者が出席出来るように考えていただきたい。

### ◆ 王道佳示会参加

今年の全道集会は地方開催年で、室蘭支部の洞爺湖温泉で開催されることとなります。

銚路支部も積極的に参加者を募り、集会が成功されるよう協力していかねばなりません。

### ◆ 機関紙発行

銚路支部と会員との情報伝達は、機関紙が最良の方法であります。今年度、年3回の銚路支部機関紙を発行し、各部会・支部の情報を伝達していきます。

発行には、どうしても原稿不足とい

う状況になるので、各役員は、原稿投稿に積極的な協力を要請します。

### ◆ 地域支部の連携

北海道難病連銚路支部は、地域内の患者さんが、病氣別の患者会に入会すると、同時に病氣別の会と難病連の会員となります。

今年度は、各部会の行事に積極的に参加し、ボランティア役と患者さんとの交流をはかります。

昨年、医療講演会を実施したパーキンソン病では、患者懇談会を開催し、地域部会の結成に結びつけるよう取り組みます。

膠原病部会は、医療講演会を計画しています。この医療講演会にも知識向上の観点から受講するよう取り組みます。

また、銚路市のボランティア連絡協議会が行う、「VOアイランド北海道・91」へも参加し、多くのVOさん方との交流をはかります。

### ◆ 白糠・音別支部の準備

現在銚路支部は、白糠・音別の両町も一緒になって組織し活動しています。

白糠・音別地域内会員の意向調査を行い、将来、白糠・音別支部として独立されるよう準備し協力していきます。

### ◆ 協力力員への対応

活動報告のように、協力会費の納入率が悪く、その原因を調査し、納入率の向上に取り組みます。

また、新規会員の掘り起こしにも積極的に取り組みます。

### ◆ 車事務所への運営

昨年から使用が開始された支部事務所は、役員並びに会員の積極的協力により、常に連絡がとれる機能にしていきたいと思えます。



財団法人・北海道難病連  
1991 年度  
釧路各支部事業・行事計画書

自：1991年 4月 1日  
至：1992年 3月31日

予定年月日	計画事業・行事名	会 場	参加人数	備 考
3年5月12日	釧路支部・総会	福祉会館	50名	
3年6月	釧路支部・三役会	身障センター	7名	
3年8月	釧路支部・役員会	身障センター	16名	
3年10月	釧路支部・三役会	身障センター	7名	
3年12月	釧路支部・三役会	身障センター	7名	
4年2月	釧路支部・三役会	身障センター	7名	
4年4月	釧路支部・役員会	身障センター	16名	
3年7月27・28日	北海道難病連・全道集会参加	洞爺湖温泉	10名	
3年9月	釧路支部・患者懇親会		50名	合同レク
4年1月	道東支部・役員研修会	厚岸支部内	5名	
3年4月	釧路支部・機関紙の発行		500部	
3年8月	釧路支部・機関紙の発行		500部	
3年12月	釧路支部・機関紙の発行		500部	
	膠原病部会・医療講演会参加		5名	医療講演会
3年6月	パーキン部会・患者懇親会		30名	地域部会援
	小鳩会・日帰りレク参加		5名	交流会
	リウマチ部会・行事への参加		5名	交流会
3年7月7日	VO連協・V07イベント北海道91		5名	交流会
	白糠・音別支部結成の援助			活動費

収入の部

科 目	1990年度予算額	1991年度予算額	備 考
道難病連交付金	190,000	190,000	難病連本部より
市町村補助金	140,000	140,000	釧路10万・白糠4万
その他の助成金		0	
参加費収入	40,000	50,000	合同レク
寄付金収入	10,000	5,000	
協力会還元金収入	90,000	22,000	30件
募金箱還元金収入		2,000	
署名募金還元金収入		3,000	
販売事業収入	5,000	2,000	
その他の事業収入		120,000	ワンパット
受取利息収入	500	2,000	
前期繰越金	71,631	59,598	前年度より繰越
合 計	547,131	595,598	

支出の部

科 目	1990年度予算額	1991年度予算額	備 考
会 議 費	80,000	65,600	
支部役員会	40,000	30,000	6回
本部会議参加費	40,000	25,600	8名
その他の会議費		10,000	
事 業 費	320,000	487,400	
地区集会費	30,000	10,000	
全道集会参加費	40,000	160,000	10名
医療講演会		5,000	
検診相談会	0	20,000	
機関紙誌費	40,000	45,000	3回発行
研 修 会	50,000	92,400	本部2名・道東5名
合 同 レ ク	50,000	70,000	50名
レク・交流会費	20,000	15,000	15名・3部会
地域部会援助費	40,000	50,000	3部会
相談員補助	20,000	10,000	
活 動 費	30,000	10,000	
維持運営費	147,131	42,598	
事務局費	100,000	10,000	
事務消耗品費	10,000	10,000	
通 信 費	30,000	10,000	
資 料 費		5,000	
雑 費	7,131	7,598	
合 計	547,131	595,598	

# みんなの難病センターです

## このようにご利用いただけます

### 一般の方もご利用下さい

**相談室**—医療・福祉制度・年金・福祉機器・法律などの相談とアドバイス。電話・手紙・ご来所、いつでもどうぞ。

(毎週月曜日～金曜日/午前10時～午後5時)

**会議室**—患者会・障害者団体などの会議・講演会・研修会などにどうぞ。ビデオ、スライド、OHP、映写機、録音機など、各種設備を用意してあります。

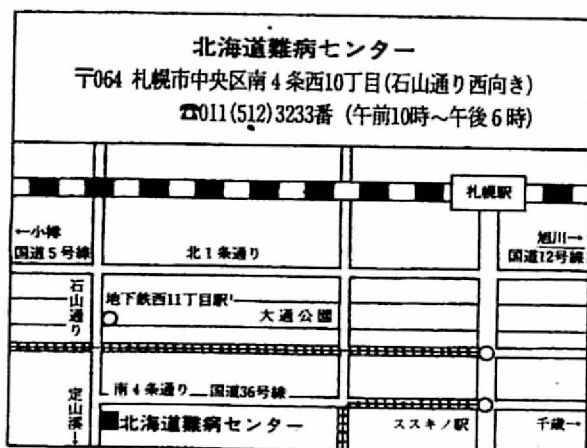
**宿泊室**—入院待ち、通院、お見舞いなど、患者・ご家族の方々や患者会などの会合、研修会などにご利用いただけます。  
定員16人/和室(4)・洋室(1)

**安全設備**—あらゆる事態に備え、万全の設備を備えています。安心してご利用下さい。

**その他**—福祉機器の展示、相談、患者会活動のための印刷設備などご利用いただけます。

**開館日**—1月7日から12月27日まで(臨時休館日があります)。

利用時間は午前9時～午後9時(会議室)



総会当日は  
この機関紙を  
お忘れなく  
持参して下さい



財団法人——北海道

難病連

HSK なんねん

編集人

財団法人・北海道難病連釧路支部  
釧路市川北4-17 身障センター内  
TEL 0154-25-2012

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可  
1991年5月10日発行 HSK通巻229号  
毎月1回10日発行 1部100円

発行人

北海道身体障害者団体定期刊行物協会

神原 義郎 札幌市北区北13条西1丁目